

2019年12月11日

2019年度の生物多様性保全活動をご紹介します！

■ 【New!】外来生物ハルザキヤマガラシ駆除活動

従来より実施してきた長野県内の森林を整備する「八十二の森」活動、「特定外来生物アレチウリ」の駆除活動に加え、今年度は新たに「外来生物ハルザキヤマガラシ」の駆除活動を実施しました。駆除活動後にはハルザキヤマガラシを食べ、楽しみながら外来生物に関する理解向上を図りました。

5月25日（土）@戸隠牧場



初めてのハルザキヤマガラシの駆除活動。40名超の職員やその家族が参加しました。



ちらし寿司や焼きそばなど様々な料理にして食べてみました。生で食べると苦味がありました。

■ 「八十二の森」活動は今年10周年でした！

4月26日（日）@長野市大座法師池の森近く



今年で2回目になる新入行員研修での「八十二の森」活動。120名の新入行員が1,000本以上の植樹等の作業を行いました。雨の作業は大変でしたが、その分学んだことは多かったようです。



植樹等作業の後は、地元の企業様のご協力のもと、木質バイオマス発電所を見学しました。サーキュラーエコノミーの一例を学びました。

5月25日（土）@松本市美鈴湖の森



職員およびその家族79名が参加しました。当日は晴天ですがすがしいなか作業を実施しました。



植樹、下刈り・除伐・枝の集積作業を実施しました。湖周辺はだいぶ整備が進んできました。

6月1日（土）@飯田市大平峠県民の森



良い天気でした。登山道に茂るササを、登りながら刈りました。



作業後はそのまま山頂へ。皆で夏焼山山頂まで登り、眺望を楽しみました。

7月6日（日）@長野市大座法師池の森



役職員およびその家族総勢約100名が参加しました。



除伐と周辺のササ刈りを行いました。年々見通しの良い明るい森になっていくことを実感できます。

9月7日（土）@松本市美鈴湖の森



今回は美鈴湖から少し離れた大正山に入り、除伐作業を実施しました。よく晴れましたが、「暑い…」の声がちらほら。皆さんこまめに水分と休憩をとりながら作業に励みました。



斜面での作業は大変でしたが、一日で大正山頂上付近の眺望を確保するまでに至りました。財産区の皆様にも喜んでいただきました。

9月21日（土）@飯田市大平峠県民の森



下伊那地区の参加者は一体感が抜群！作業終了後は、皆で地元のお店のサンドイッチを食べました。



登山道のササ刈りのほか、鋤簾を使ってキャンプ場へ繋がる車道の整備を行いました。キャンプ場の利用者は近年増加しているそうです。

■ 2019年度生物多様性保全活動のまとめ

今年度「八十二の森」活動は開始 10 周年を迎えましたが、計画した約半数の活動が雨天中止に見舞われ、参加者は 3 ヲ所 6 回の活動で延べ 479 名となりました。その他、アレチウリの駆除活動は 6 ヲ所 9 回の活動で延べ 194 名、ハルザキヤマガラシの駆除活動は 44 名の役職員が参加しました。

今後新たな活動も検討しつつ、取組を継続してまいります。